



# たか子のあったか通信

発行責任者：塩原孝子 連絡先：松本市寿北5-15-27 Email：takako092@outlook.jp ☎0263-27-1122 (共産党)

## みなさんのねがいに支えられて4年間

何よりも暮らしを支える

- ・コロナ禍で市に対策14回申し入れ
- ・水道の基本料金4か月減免実現
- ・高齢者福祉入浴券の来年度見直し撤回
- ・介護保険の福祉用具購入の仕組み改善
- ・国保料31年ぶり値下げ



さらに引き続き！

地域のみなさんと共に

- ・20年来の念願道路の側溝に蓋、歩行者の安全をかなえる
- ・アルプス公園オートキャンプ場設置案撤回へ(多くの市民の声が届く)
- ・並柳団地集会所のきずな村、大学生の食糧支援などに参加して声を聞く



給食費無料化を街頭から訴え

何よりも人権を守り  
平等の実現を！

- ・生活保護に後発医薬品を強制したお薬手帳廃止
- ・ヤングケアラー支援、訪問支援員がスタート
- ・「生理の貧困」対策・生理用品を公共施設のトイレに常備(中学校1校設置予定)
- ・子どもの医療費窓口無料18歳まで拡大

上記QRコードは公式ライン  
たか子のあったかチャンネルです。  
ライン登録をお願いします。

# 臥雲市政問題1

## 市立病院の産科分娩廃止方針

突然市立病院の移転新築に伴う基本設計で分娩室や陣痛室を凍結する考えを発表しました。公立病院の役割、西部地域の重要な位置づけから多くの市民から廃止方針に反対の声があがっています。

### 公立病院だからこそその役割

松本市立病院の産科の休止が検討されていると聞き、驚いています。このコロナ禍で市立病院は多くのコロナ患者だけでなく、コロナ感染妊婦・産婦も受け入れ、安全な妊娠・分娩のために大きな役割を果たしました。これは、公立病院だからこそできたことだと思います。儲けや、政府の病床削減計画を優先せず市民の安全を第一に、産科存続を訴えます。

助産師 k



### 引き続き地域で出産できるように

出産を間近に控えて、また分娩できる産科が一つ減るのだと思うと不安に感じます。産婦人科の分娩中止は、こどもを安心して産みたい・松本市で育てたいと考える女性の思いを踏みにじることになります。市立病院分娩中止の検討を今すぐやめてください。

s.k(二児のママ)

## 臥雲市政問題2

### 市庁舎分散化検討

市民・職員本位ではなくお城周辺の観光地構想優先

市庁舎分散型構想はそれまで議会などで議論してきたものを臥雲市長がくつがえすものです。市役所本庁舎(西庁舎)の跡地をお城と一体の観光地にすることを前提に南松本地域と丸の内(現東庁舎)に機能を分散させるという基本方針です。

### 共産党市議団は提案します。「統合型」本庁舎を

共産党市議団は市役所は公共サービスを提供する本拠地として市民にとつて身近で利用しやすい「地方自治を推進する場」として職員が働きやすい地域福祉の向上に効果的な「統合型・地域連携型」市役所構想を提案します。

「統合型」本庁舎をベースに、地区公民館、福祉ひろば、支所・出張所が連携し、さらに保健師さんの配置を増やし、地域共生コミュニティの中核となる「地域づくりセンター」の更なる充実を求めます。



## 臥雲市政問題3

### 福祉・介護などは後回し

健康寿命延伸年の旗を下げ、熟年体育大学の廃止、敬老祝い金の減額、健康づくり推進員の廃止、高齢者福祉入浴券の廃止検討など、高齢福祉施策について後回しの市政です。



2月議会会で介護認定調査員の増員・専門職配置を求める塩原市議

### 介護認定調査を事態に即して改善を求めるが後ろ向きな回答

2月議会会の一般質問で介護保険サービスを使う際の介護認定結果が軽く出てサービスが使えず困っているという問題を取り上げました。認定調査員の増員や専門職の配置等を求めましたが、適切に実施しており、認定が軽く出ることはないとの強弁、後ろ向きの姿勢が明らかになりました。

他市では調査員一人が一日に2件程の調査ですが、松本市は4件程度の調査です。調査員の増員や専門職の配置を求めましたが、いづれもしないという冷たい回答でした。介護保険財政は昨年度の決算で5・8億円の黒字、支払い準備基金は10億円を超えています。財源は十分あるのに活用しない市政です。

もっとももっと地域のために働かせて下さい  
地域課題解決のために一歩、さらに一歩

いつも  
全力で

## 太陽光発電の傾斜地への 新設に待った!

寿上瀬黒町会 M

近所の傾斜地に太陽光発電のパネルの設置工事をしたいと業者から常会に話があったのは2年前でした。土砂災害の心配やお宮の下の景観が悪くなるのではないかと、とても心配でした。

塩原議員が訪ねてくれたことがきっかけで、調査して貰いました。業者が他の地区で登録の取り消しをされた業者であることがわかり、この計画はなくなりました。すぐ動いてくれ、相談して良かった、とてもほっとしています。



太陽光発電を新設中止の傾斜地

松本市は今まで太陽光発電の設置について目安を定める条例がありませんでしたが、やっと条例策定の準備が始まります。

あり何年も心配をしていました。市役所に相談しても動いて貰えなかったのですが、塩原議員に相談すると、すぐに市に掛け合ってくれ、道路標示やカーブミラーの設置が出来ました。

子ども達の通学路にもなっているので安心して通学できてやっと安心しました。

## 道路標識やカーブミラー設置が実現 子ども達の通学路やと安心

並柳町会 中嶋

見通しの悪い交差点で優先道路の表示もなくカーブミラーもなく事故が起こりそうな場所が

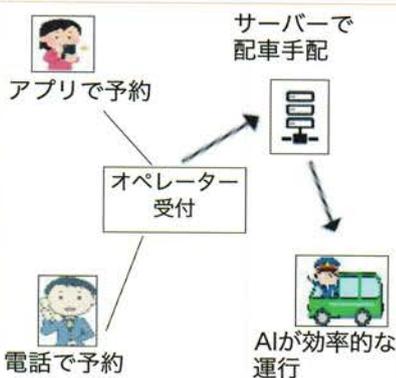


## デマンド交通で地域の暮らしを守る 地域限定の実証実験始まる

来年度から「公設民営バス」がスタートします。秋からはバスが通らない交通空白地域に「オンデマンドバスシステム」の実証実験が、寿・寿台・松原のエリアでスタートします。スマホや電話などから予約をするとAIが効率的なルートを解析して、地区内の乗降ポイントにお迎えに行き、目的地まで乗せて行くというものです。

実証実験のため、多くの方に利用して頂き、より利用しやすいシステムになるようにしたいと思います。市民の移動を守るため地域の声を引き続き届けて行きます。

## AIオンデマンドバスのイメージ



# 活動日誌

## 市立病院

### お産廃止に待った

松本市病院局は突然、市立病院産科の廃止を検討すると言い出しました。分娩数が減少していることや産科医師の確保が難しいこと、公立病院経営強化プランの策定義務付けなどが足かせになっているようです。



公立病院は政策医療を担う役割があります。西部エリアの妊婦さんが安心してお産が出来る様に、継続を求めます。

### コロナ対策要請 第十四次

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられます。オミクロン株は伝染力が強く基礎疾患を持つ人や高齢者には重症化リスクを伴う感染症です。

国に対して今の時期に引き下げを行わないように求めることや、医療機関の実態把握を行うこと、必要な対策については継続・強化することを求めました。

### 公共施設に生理用品常備実現

12月議会で公共施設のトイレに生理用品設置を要望しました。

松本市は国際女性デーの3月8日から地区公民館や公共施設に無償の生

理用品を常備すると発表しました。

皆さんの声が行政を動かしました。政治は変えられません。黙らない・あきらめないで力を合わせましょう。

### 適切な介護認定を



集会で介護等の要望をお聞きする

ケアマネさんや地域の方と懇談すると「介護認定が軽く出るようになって困っている」との声を聞きます。ケアマネさんから、認定の変更申請件数が多くなっていることや認定情報確認の書類作成が煩雑であることも相談されます。

高齢福祉課に問い合わせたり、他市の状況を調査しました。認定調査員の人数が適切であるかも含めて、引き続き調査したいと思えます。

### ほっとひといきコーナー

#### 暮らしの相談から



★障がい年金を受給できないかとの相談がありました。かかりつけ医がいるようでしたので、まずはそちらに相談をするようにお話しをしました。

★農地転用について相談がありました。

農政課や農業委員会、建築指導課や土地家屋調査士さんとも相談して対応しました。

★生活保護を利用している方の別世帯の親族の方から「お米をあげたら、それが「収入」とみなされて保護費が減額されると生活福祉課の担当者に言われた。保護費が減額されることに納得がいかない」と相談がありました。

りました。生活保護手帳の別冊問答集の記載を示して、福祉課の指導を撤回させました。

このコーナーでご紹介できる例は、ほんの一部ですが、四年間で千件余りのご相談を受けてきました。皆さんの困りごとをお聞きする中で議員の責任を感じてきました。また問題が解決したときの相談者の笑顔に元気をもらってきました。引き続き、皆さんの為に働きたいと思えます。

春の足音が聞こえてくると思いますが「ふきのとうの天ぷら」です。

料理上手だった亡くなった母が、最後に作ってくれたのが「ふきのとうの天ぷら」でした。突然の事故で会えなくなりましたのですが、この季節になると母の揚げたふきのとうの綺麗な色を思い出します。



ふきのとうが地面から顔を出す季節です。今年もまた、母がしてくれたのと同じように天ぷらにして、目と舌で春を味わいたいと思います。